

《沼田ならではの新たな教育スタイル》沼田町一貫・連携教育 新たなスタートラインに立つ！沼田町一貫・連携教育！ ～170名を迎え、公開研究大会盛会裏に終了～

10月28日（水）沼田小・中学校において、沼田町が平成25年度から実施している「一貫・連携教育」の取り組みや成果を紹介する公開研究大会を開催しました。道内の教育関係者ら170人が参加し、幼・小・中の沼田っ子の授業を見学したほか、京都産業大学西川信廣教授の講演に耳を傾けました。



○公開授業～4つのタイプの授業を公開しました。

【①合同授業】小中合同授業・音楽 小・中両校の児童生徒が小学校体育館で合唱曲「この星に生まれて」を、パートに分かれてリーダーの指示のもとに強弱を意識しながら練習し、最後には美しく元気な合唱を響かせていました。

【②系統を大切にした授業】算数（小6）「拡大図と縮図」で、中学数学で学ぶ「相似」の基礎となることから図形の感覚を育てることを目的としての授業を行ないました。数学（中2）「並行と合同」で、小学校で学んだ「多角形」の合同も踏まえ、合同となる理由を意識させる授業を行ないました。



【③乗り入れ授業】外国語活動（小5）「I study Japanese.」で、英語を使って積極的にコミュニケーションをする態度の育成を図り、中学での実践的コミュニケーション能力へ繋げることを意識し、中学校の英語の教諭も加わった乗り入れ授業も行ないました。



【④交流授業】生活（幼・小1）「あきとともだちになろう」で、小学1年生が幼稚園児を招待し「こどもまつり」を開催するという設定で行ない、1年生は声のかけ方や自分の行動を見つめ直したり、幼稚園児は小学校生活への期待や憧れに繋げる授業を行ないました。

○開会式 空知教育局の松山局長、金平町長が来賓として出席される中、生沼教育長が「沼田町ではその小ささを活かして、先生方が連携し様々な取り組みを進め、また、保護者からなる家庭地域部会も積極的に活動いただいています。皆さんから意見を伺い多くの研究大会にしたい。」と挨拶しました。



○全体会 取り組みの発表 研究部から一貫・連携教育の3年間の概要と今後の取り組みについて、振興会サークル各グループ長と家庭地域部会から、取り組み内容、課題と成果について発表しました。



○記念講演会「学校と教師を変える小中一貫教育（京都産業大 西川教授）」

冒頭では公開授業の論評を頂きました。小中合同音楽授業を例に、子ども達が学び合う中で、リーダーである中学3年生の著しい成長（ホップ、ステップを飛び越え、ジャンプ）、それを目の当りにして目標を持つ子ども達の相乗効果等、「こども達の学び合い場面の設定によって、大きな成長（ジャンプ）の可能性を教師が感じ取り、授業を創ることの大切さをお話しされました。

また、①知識伝達型の授業がはびこるようでは状況は改善されない。②小中一貫連携教育のめざすものは、子ども像を共有した授業づくりについてであると力説されると共に、「新たなスタートラインに立つ沼田町一貫・連携教育」と期待のエールを贈られました。

多くの収穫を得て、沼田町一貫・連携教育は、第2期（H28～30）に進みます。詳細は、次号でお知らせいたします。